

## 症例レジストリデータベースを用いた高齢糖尿病患者の血糖管理と 糖尿病治療新薬に関する実態調査

2型糖尿病はインスリンの作用不足や作用低下が原因となって高血糖が慢性的に続く疾患であり、細小血管症、大血管症等の生命予後に直結する重大な合併症をもたらす。国内の患者数は1000万人以上と推計されており、糖尿病を持つ人の割合は高齢であるほど高い。

高齢の糖尿病患者はより若い患者と比較して低血糖に対して脆弱であること、動脈硬化性疾患の合併率が高いことなどの注意すべき特性を持ち、低血糖やポリファーマシーのリスクを避けるため血糖コントロール目標が成人よりも緩やかに設定されている。しかし、この血糖コントロール目標の設定に関して高齢者に限定した介入研究は見られず、現行の血糖コントロール目標の達成状況や血糖コントロール不良群の予後についてはリアルワールドデータを用いて確認することが有用である。

また、低血糖を引き起こすリスクが低いこと、心血管・腎保護作用を持つことで近年注目されているSGLT2阻害薬についても、高齢者への処方におけるエビデンスが不足している。血糖やeGFRに対する効果を示した過去の臨床試験には75歳以上の患者はほとんど含まれておらず、一般の高齢糖尿病患者の患者像とは異なっていると考えられる<sup>1,2</sup>。そのため、高齢者へのSGLT2阻害薬の血糖及び腎機能に対する有効性について、リアルワールドデータを用いて検証することが重要であると考えられる。

本研究では国内のかかりつけ医に通院する患者を対象とした前向き観察研究のデータを用い、高齢糖尿病患者における血糖管理の実態とコントロール不良な患者の背景因子を明らかにする。また、SGLT2阻害薬の血糖及び腎機能に対する有効性の検証を行う。

本抄読会では現段階での結果とその解釈を示し、今後の展望について述べる。

### 【参考文献】

1. Rooney MR, Tang O, Echouffo Tcheugui JB, Lutsey PL, Grams ME, Windham BG, Selvin E. American Diabetes Association Framework for Glycemic Control in Older Adults: Implications for Risk of Hospitalization and Mortality. *Diabetes Care*. 2021 Jul;44(7):1524-1531.
2. The EMPA-KIDNEY Collaborative Group; Herrington WG, Staplin N, Wanner C, Green JB, Hauske SJ, Emberson JR, Preiss D, Judge P, Mayne KJ, Ng SYA, Sammons E, Zhu D, Hill M, Stevens W, Wallendszus K, Brenner S, Cheung AK, Liu ZH, Li J, Hooi LS, Liu W, Kadowaki T, Nangaku M, Levin A, Cherney D, Maggioni AP, Pontremoli R, Deo R, Goto S, Rossello X, Tuttle KR, Steubl D, Petrini M, Massey D, Eilbracht J, Brueckmann M, Landray MJ, Baigent C, Haynes R. Empagliflozin in Patients with Chronic Kidney Disease. *N Engl J Med*. 2023 Jan 12;388(2):117-127.